

議会だより はこね

小学校6年生議会傍聴中

主な内容

- 12月定例会…………… P 2
- 議案の審議結果（表）…………… P 3
- 一般質問…………… P 4～8
- 議会だよりの発行まで…………… P 9
- 小学校6年生議会傍聴…………… P 10
- 常任委員会報告…………… P 11

12月定例会

12月定例会は、12月1日から12月14日までの会期で開催され、条例の改正や補正予算、一般質問等を行いました。

補正予算

平成28年度箱根町一般会計補正予算(第5号) 原案可決

補正額 4億3,606万2,000円追加 ⇒ 補正後の総額 103億4,155万5,000円

主な内容 宮城野保育園建設事業、ふるさと納税促進事業等

平成28年度箱根町介護保険特別会計補正予算(第2号) 原案可決

補正額 307万5,000円追加 ⇒ 補正後の総額 12億1,088万5,000円

主な内容 町村共同システム負担金、介護保険料過年度過誤納還付金等

条例改正 4件

○議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例及び箱根町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
・・・原案可決

○箱根町町税条例等の一部を改正する条例の制定について
・・・原案可決

○箱根町子育て勤労者支援住宅条例の一部を改正する条例の制定について
・・・原案可決

老朽化した湯本後山子育て勤労者支援住宅に入居者が不在となり、その用途を廃止するための改正です。

○箱根町立学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
・・・原案可決

工事請負契約 1件

○工事請負契約の一部変更について
・・・原案可決

宮城野保育園建設工事に伴う契約金額に変更(約378万6000円)が生じたためです。

その他 2件

○不動産(建物)の無償譲渡について
・・・原案可決

○町道路線の廃止について(3件)
・・・原案可決

議会議事案件 1件

○地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について
・・・原案可決

地方議会における人材確保を図るため、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう、関係行政庁に意見書の提出をするものです。

継続審査 2件

○箱根町第6次総合計画の策定について

○箱根町第3次都市計画マスタープランの策定について

この2件に関しては、総合計画・都市計画マスタープラン審査特別委員会に付託され現在審査を行っています。

表紙の写真

小学校6年生の議会傍聴

町内の各小学校6年生が議会傍聴に来てくれたときの写真です。

昨年度より、社会科授業の一環として、将来、町の発展に貢献しようとする住民としての意識を育てることを目的に、教育委員会や学校関係者のご協力により実施しているものです。

※P6に特集として詳しく掲載しています。



議員別議案賛否一覧 (賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議案番号	議案等	議決結果	村野由紀子	川端祥介	川口延明	勝俣剛一	小川鶴雄	勝俣公好	山田成宣	稲葉親太郎	山田和江	石川栄	遠藤秀則	折橋尚道	西村和夫	沖津弘幸
104	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—

～ 議案の説明 ～

2011年度に廃止された地方議員年金制度ではなく、町長副町長と同じ年金制度への加入を求めるものです。厚生年金制度への加入対象者は会社等に勤務している場合に対象となります。

※ 記号の説明 可：原案可決 ○：賛成 ×：反対 —：議長は採決に参加しません

議会用語解説

意見書

地方公共団体の公益にかかわる事柄に関して、議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁に提出することです。具体的には、議員が発案して本会議にはかり、採択された後、議長名で関係機関に提出します。

(町民等から意見書提出を求める請願が提出されることもあります。採択された場合は、議員発議で意見書を提案し、採択することになります。)

意見書には法的拘束力はありませんが、住民代表である議会の総意として尊重されます。

補正予算

3月定例会において決定された当初予算を超えて支払い等をする必要が発生した場合に、その分を補うために元の予算に上乗せすることです。議会の承認後に、補正予算が成立します。

一般質問

本会議で議員が町長に対して町政全般に関する質問を行うことです。内容は町政の方針に関することや、事務の執行状況等について質問し、その報告もしくは説明を求めることができます。

この質問は通告制で、議員一人当たりの質問時間は60分と申し合わせ事項により決められています。

質疑

議題となっている議案に関して不明確な点について聞くことです。一問一答方式で行われ、議題に関係のないことは質疑できません。これから議題になる議案や既に議題となってしまうものに対しても質疑できません。議員一人当たりの質疑時間は20分と申し合わせ事項により決められています。

常任委員会

総務企画観光常任委員会と教育福祉環境常任委員会の2種類があり、付託される議案の有無にかかわらず常設されている委員会で、箱根町では、7名ずつ選ばれて組織されています。

本会議における議案の審査で、議論が尽きない場合等に担当の常任委員会へと付託され、審議を行います。

特別委員会

常設されておらず、特別な場合に組織される委員会です。議会での必要性や定数等を議決によって決定し、特別委員会に付託された案件が、議会において審議されている間存在します。行財政改革調査特別委員会や議会改革等推進特別委員会、総合計画・都市計画マスタープラン審査特別委員会等が組織されています。

12月定例会では、町政全般へ8人の議員が15項目にわたる一般質問を行いました。なお、質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問項目	ページ
山田 成宣	・観光施策の考えについて(観光地を経営するDMOについて) ・子育て支援の充実に向けた施策について	4
石川 栄	・箱根町の公共施設整備と維持管理のあり方について	5
勝俣 公好	・小児医療費自己負担額の無償化拡大(高校3年生まで)について ・高等学校等通学費の全額補助について	
村野由紀子	・箱根町のトイレについて ・災害に強いまちづくりについて	6
折橋 尚道	・インバウンド強化と大涌谷観光の安全対策について ・町職員の就労状況について ・小・中学校の英語力強化とコンピュータプログラミング等のICTに関する教育について	
勝俣 剛一	・受益者負担の適正化について ・通学路の安全対策について	7
川端 祥介	・町長の所信表明について	
山田 和江	・「人口減少・少子高齢化対策の更なる推進」について ・就学援助制度の改善について	8

※ **Q** は議員の質問、 **A** は町側の回答です。

一 般 質 問

町の考え方を問う!



魅力を感じ得る子育て施策を問う

町 — 第2子以降の保育料を無料に!!

Q 5期目に入られた町長の子育てに関する考えを伺う。

A 一貫して少子化対策を町政の最重要課題として捉えて、子育て支援関係の施策を展開していく。地域全体で次代を担う子ども達が地域社会の一員として育つことができる環境づくりが必要。

Q 子育て世代の世帯が魅力を感じ得る施策は? 子育て支援に関する具体的施策を改めて示してもらいたい。

A 妊活中の支援として、不妊・不育症治療費助成事業・第2子以降のお子さん誕生祝い金を交付し、子育て世帯の経済的負担を軽減している。平成29年4月からは、第2子以降の子どもの保育料を無料にし、就学前の子どもの保育教育

Q 観光に力を入れている町について町全体で支援していく。

A あるなら、休日保育の対象児の枠を広げて、子育て家庭のニーズに添えて欲しい。また、日常の保育についても子育て家庭が利用しやすいとはいかがか?

A 保育者の配置を大幅に増す必要があるが、すぐには難しい状況であるが、今後、保育士の確保や、ニーズ等状況に応じて検討していく。日常的にも、保護者が通院されたり、リフレッシュをされたい時は乳幼児一時預かり等さまざまな保育事業があるので、有効に活用していただきたい。



山田成宣議員

箱根町の公共施設整備と維持管理のあり方

町 — 現行のサービスを低下させることなく町民との議論を重ね解決していく



石川栄議員

Q 公共施設に係る設備投資経費の配分状況、平成24年度築30年経過施設46%もあるが、考えを伺う。

A 配分増加を考え更新問題に対処、今後40年間で404億円、1年あたり約10億の更新費用が必要。現状では維持できないことを分かり易く説明。町民と問題意識を共有し、「公共施設マネジメント基本方針」に基づき、公共施設を継続的に維持する。

Q 老朽化施設の早期整備について伺う。

A 必要な行政サービスを確保しつつ、公共施設全体の延床面積削減を検討していく。大規模施設老朽化は将来的ニーズを勘案、一定の投資を図りライフサイクルコストを縮減しつつ整備のスパンを早めたい。

Q 箱根中学校、環境センターの整備について伺う。

A 「中学校」は壁の剥離や内部劣化が激しい。古い校舎は45年経過しており、破損箇所は随時修繕、平成27年度校舎4棟の耐力調査において耐震性は非常に安全度が高いが、老朽化を表す健全度は低いとの診断結果により長寿命化改良工事を選択、平成29年度実施設計委託、平成30年度校舎改良工事、平成31年度体育館改良工事で進める。「環境センター」は22年経過し、老朽化が顕著。延命化工事については一市三町広域化を見据え、特に、し尿処理施設は50年以上経過しており処理の方法を検討中、現行サービスを低下することなく、町民の皆様にご理解を説明を行い取り組んでいきたい。



工事中の環境センター

小児医療費高校3年生まで無償化拡大について、高校通学費の全額補助について

町 — 今後検討していく。当面は現在の保護者負担額を維持していく。



勝俣公好議員

Q 町では少子化と人口減対策と重点施策に掲げている。地方創生推進事業の長野県下条村の視察での効果は、下条村ではいろいろな定住化促進施策を打ち出したところ、人口増が起り、その一つの策に小児医療費自己負担額を高校3年生まで無償化を取り入れたとありましたが、箱根町もこの策を取り入れられないかを伺う。

A 町は小児医療費助成と力を入れてい事業であるが、現時点では難しい。小児医療費の対象年齢は、子どもの健康に資すること、病気の子どもを抱える子育て家庭の経済的支援であるので、今後検討していく。

A 町は小児医療費助成と力を入れてい事業であるが、現時点では難しい。小児医療費の対象年齢は、子どもの健康に資すること、病気の子どもを抱える子育て家庭の経済的支援であるので、今後検討していく。

Q 高校通学費の補助について、平成26年12月議会でも3ヶ月で5千円の負担増になることで、仙石原高校保護者会からの意見で負担増は経済的に苦しくなる、転居を考えたなどの発言が多く、高校生を持つ家庭の重い負担になるので定住化対策、子育て対策の方針を示す所から高校通学費の保護者負担を0円にできないか伺う。

A この事業は平成18年度より、育英奨学金特別会計から高等学校等通学費補助事業に財源を繰り入れしているが、基金残高が年々減少し本来の目的が出来なくなる。この様なことから、当面は現在の保護者負担額1万8千円を維持していかざるを得ない。



函嶺洞門バイパス、雪の対応について

町 — 十分な周知を県に働きかける



函嶺洞門バイパス開通式



函嶺洞門バイパス

Q 町内の国道道、11月24日、朝8時の時点で山間部は、チェーンなどの滑り止めが必要となり、路線バスが小田原から湯本間で折り返し運転だった。今回の雪の対応で函嶺洞門のバイパスは使えたのか伺う。

A 神奈川県では、チェーンの脱着については、函嶺洞門付近の駐車場を利用して頂くように県のホームページ等で周知、転回場は、原則的には箱根全山、滑り止めが必要となった場合に開放するということですが、開放しなかった。

Q 県ホームページで周知されたとのことだが、ホームページだけでは、町民、観光客には、分かりづらい、また、せっかく脱着場を開放していたのであれば、脱着場、転回場の看板など分かるような表示が必要ではないか。情報の周知も考えた方がいいと思うが伺う。

A 有効にご利用いただくために、交通安全確保という点もある、十分な周知に努めていただくよう、県に働きかけをしていく。



村野由紀子議員

大涌谷安全対策とインバウンド強化について、英語力の向上とICT教育について

町 — ガス監視の強化、小中一貫教育の充実

Q 「火山ガス安全対策専門部会」が設置され、大涌谷火山周辺の監視強化を進めている。今後進める安全対策と立ち入り禁止の自然研究路開放の見込みはあるのか。

A 大涌谷周辺に計5カ所を、24時間体制でガス濃度のモニタリング実施。基準値を超えた場合は、注意喚起や屋内退避などの情報を、4ヶ国語放送で伝えている。今後は計測機器を11ヶ所増設し、データを一元的に管理する体制とする。自然研究路の再開は「火山ガス安全対策専門部会」の評価で判断するが、避難用シェルターが必要なので時間がかかる。



大涌谷

Q 経済産業省商務情報政策局が進める「おもてなしプラットフォーム」で実証されている生体指紋

A 指紋認証は経済産業省が外国人旅行者に対し10月から実証が行われ、買い物決済、ホテル・旅館のチェックイン手続きなど、指紋認証によって確認するも、箱根では強羅地区の導入が進んでいる。

Q 小中学校での英語教育の強化とコンピュータプログラミング等のICTに関する教育の導入について。

A 小中一貫教育の中で、英語教育の充実を図るために小中学校に同じ教員を巡回させる、更に日常の学校生活に英語を取り入れていく。プログラミング教育の導入は、文科省からの教育内容がまだ示されていないが、来年度教員にタブレット端末を配置する予定。



折橋尚道議員

認証による決済の実装について。

通学路の安全対策について

町 — 箱根町通学路安全推進会議の設置



勝俣剛一議員



Q 最近、多発している通学中の事故の安全対策について当町の取組みは。

A 平成26年度に警察や道路管理者、中学を含む1中3小、全ての学校長等をメンバーとした、「箱根町通学路安全推進会議」を設置して、通学路安全プログラムを策定、対処している。

Q 危険箇所等の点検及びびチェック状況は。

A 箱根町通学路安全推進会議の構成員が、定期的に合同点検を行うこと、点検後に対策を行うこと、各関係機関が連携して安全対策を行うこと、このプログラムに従い、毎年、通学路の点検改善を行っている。



通学する小学生

Q 雪道対策についての対処は。

A 国、県道については、不測事態の未然対応として児童生徒が必ず通る国、県道沿いの歩道部分地図に示した箇所を重点的に除雪を依頼している。

Q 学校周辺の歩道についての対処は。

A 各学校の職員が、児童生徒が車道にはみ出して歩くことがない様に、登校前に歩道の除雪を行っている。なお、中学校に除雪機1台を配置、地域の方々や保護者の協力のもと、通学路の安全確保を行っている。

来町外国人客にアンケート調査を行い、おもてなしの充実を！

町 — 来町外国人観光客に対しては、マーケティング・ニーズ調査を的確に行う



川端祥介議員



Q 町長の所信表明のなかで観光の振興がある。国の推計では、平成28年1月から10月までの間、訪日外国人客数が2000万人を上回ったと聞いている。本町の平成28年の外国人客数は、100万人を突破することが確実とのなかで、将来200万人を目指す考え方を示され、外国人が箱根でひとり歩きができるよう、ニーズを把握するため外国人客の多く集まる場所（大涌谷・遊覧船の船着き場・宿泊施設等）でアンケートを実施していく考えがあるか伺う。

A 外国人アンケートを、町独自で行うことについては、この1年間で箱根に宿泊した外国人の、国別集計をみると、1位が中国、2位香港、3位アメリカ、4位台湾、5位シンガポールとなっている。

アジア圏のお客様が多く、本年1月からアジア向けのデジタルマーケティング事業を行っている事業者と協力し、訪日旅行でのヒアリング等を行い、ニーズの把握を行っていく。

内容の詳細については、これから調整を行うが、マーケティング、ニーズ調査といったものは、今後ますます重要性が高まってくるため、的確に行っていくと思っ



湯本駅構内の観光客

定住化には交通費の負担軽減を！

町 — 金額の軽減について今後も話をさせていただく



山田和江議員

- Q** 町長所信表明の一つである「人口減少・少子高齢化対策の更なる推進」について伺う。初めに平成27年の大涌谷の活発化による人口流出についてどのように考えているか。
- A** 具体的な数字は把握していないしその規模もわからないが残念ながら事実と考える。
- Q** 広報はこねの人口掲載で昨年の5月1日からの一年間で1437人減っている。町長はこの数字をどう受け止めるか。
- A** 最大限町としても努力はした。
- Q** 「少子高齢化対策」の中身について伺う。空き家の活用では家財道具が残っていて放置されている理由の一つになっているが対処は。
- A** 調査をしている業者に紹介し登録を呼びかける。
- Q** 第2子以降の保育料の無償化の年齢基準は。
- A** 多子計算にかかる年齢制限を設けずに全ての第2子以降の保育料無料化を実施する。
- Q** 若い人がこの町に住み続けるためにはなお年よりが大事にされなければならない。町の根幹である交通費の負担軽減を総合計画でも取り上げてと行ってきたが、全町民にも高いバス代が負担になっている。
- A** 公共交通機関に金額の軽減について今後も話をさせていただく。
- Q** 村をあげて人口増に取り組んでいる上野村に行ってきたが当町でも町を挙げて行うべきだ。
- A** 日本全体で考えていかなければいけない。



議会カレンダー

2017年2月

月	火	水	木	金	土	日
13	14	15 議会全員協議会 議会運営委員会	16 県町村議会議長会 役員会・定期総会	17	18	19
20	21	22	23 3月定例会(1)	24	25	26
27	28					

2017年3月

月	火	水	木	金	土	日
		1 3月定例会(2)	2	3	4	5
6 3月定例会(3)	7 3月定例会(4)	8	9 常任委員会	10	11	12
13 3月定例会(5)	14 3月定例会(6)	15	16 予備日	17 3月定例会(7)	18	19
20	21	22 小学校卒業式	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※現時点での予定となっています。ホームページにおいて随時更新いたしますので、ご覧ください。
 ※網掛け部分：3月定例会会期(23日間を予定)

「議会だより はこね」ができるまで!

箱根町議会では、年4回の定例会ごとに「議会だよりはこね」を発行し、議会活動や審議経過等についてお知らせしています。今回は、広報広聴委員会が編集する「議会だよりはこね」ができるまでをお知らせします。

第1回委員会

- 編集方針や紙面構成、特集記事等の担当者を決めます。
- ※原稿は議員が書いています。一般質問は質問者本人、各委員長の報告は各委員長が書き、それ以外の特集記事等は広報広聴委員が分担しています。

第2回委員会

- 提出された原稿の内容確認を行い、表紙の写真、全体のレイアウト等を決めます。



議会だよりモニターさんによるアンケート結果は、次号の議会だよりに反映するよう、広報広聴委員会において協議を行っています。

印刷業者へ初稿提出

第3回委員会

- ゲラ刷りの校正を行います。

印刷業者へ2校提出

第4回委員会

- 2校の校正、最終チェックを行います。

印刷業者へ最終校提出
(印刷・製本・納品)

新聞折り込みにて各世帯へ配付、
役場本庁舎及び出先機関にて配布



議会だよりモニターさんへのアンケート実施

箱根町議会では、議会だよりの企画及び編集等に際し、広く町民から意見や提案を聴取して、内容の充実を図るため、箱根町議会だよりモニターを設置しています。

各地域から1名ずつ、5名の議会だよりモニターさんにご協力いただいています。

(順不同、敬称略)

湯本地域	温泉地域	宮城野地域	仙石原地域	箱根地域
二見 嘉彦	小林 光代	茂村ひとみ	勝俣 直子	児島 主徳

特集! 6年生による議会傍聴



▲傍聴実施前に、各学校で地方自治の勉強。予備知識を備えて傍聴に備えます。

12月13日、町内の小学校6年生が、議会傍聴と箱根町役場の見学にやってきました。



スクールバス到着

傍聴に来てくれた6年生の感想

私たちのためにいろいろ話し合ってくれていると思いました。気がひきましたし、本当の議会を見て、この町に住んでいることに安心しました。
(湯本小学校)

町長さんや町の議員さんたちが真剣に箱根町のこと考えてくれてとてもうれしいです。ぼくは、人前で話すのが苦手なので、町長さんや議員さんたちみたいになりたいです。
(箱根の森小学校)

ここに話し合いに来ている人はきっと、箱根町をよくしようと思っているんだと思うとうれしいです。
(仙石原小学校)



玄関にてお出迎えです。未来のある子どもには、役場もVIP対応です。

誰でも気軽に、子どもでも大人でも分け隔てなく、議会の傍聴を可能とするために、私たち議会は条例や規則を改正してきました。その結果、議会からの提案により授業としての議会傍聴が実現しました。



この企画運営に関しては、教育委員会と学校の先生に大変な努力をいただきました。箱根町議会の取り組むこうした企画は、全国でも類のないものです。この傍聴に参加した子どもたちの中から、将来の議員が出現してくれることを、私たちは願っています。

議会改革等推進特別委員会 委員長 折橋尚道

- ◀傍聴席には、各校入れ替えのため待機中
- ▼教育委員会の先生より、食堂にて議会傍聴の前に、傍聴のマナーや見学の手順の説明を受け、議場に向かいます。



総務企画観光常任委員会 報告

12月定例会会期中に当委員会に付託された議案の審査を行いました。

議案98号不動産(建物)の無償譲渡について

この議案は、社会福祉法人箱根恵明学園から温泉幼稚園施設の利用についての要望を受け学園の公益性、将来に亘る施設の有効利用及び地域と共生し続けることによる効果を考慮し、無償で現温泉幼稚園の建物を箱根恵明学園に譲渡することとした議案であり、採決の結果全会一致により可決すべきものと決定した案件でした。

委員会として今後も公共施設の再利用の観点からも注視していきたいと思えます。

委員長 山田 成宣



温泉幼稚園



総務企画観光常任委員会の様子

教育福祉環境常任委員会 報告



廃止された町道の一部



教育福祉環境常任委員会の様子

当委員会におきましては、景観条例について調査・研究を行うため、他自治体の条例等の情報収集を行いました。また、12月定例会において付託された、町道路線の廃止3件（温106号線、宮130号線、仙58号線）について審議を行いました。これらの路線は現況がないことから、効率よく審議を進めるため、今回は現地の視察を行わず、現地の写真にて確認することとしました。いずれも可決決定しましたが、町道については、今後も厳格な管理をするよう附帯意見をつけて、議会報告を行いました。

今後は継続調査となっている各項目について検討を進めて参ります。

委員長 勝俣 剛一

議会傍聴にお越しくささい

2月23日から3月定例会が開かれる予定です。

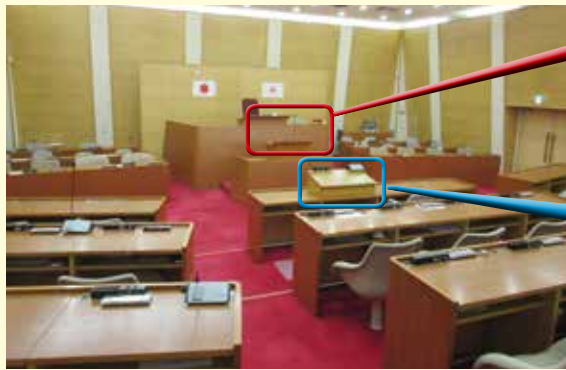
なお、議会運営委員会の審議によっては、開催日等変更が生じることがありますので、ご了承ください。

※現在の3月定例会開催予定日は2月23日、3月1、6、7、13、14、17日です。

また、ベビールームもあり、赤ちゃん連れの方も傍聴できますので、ぜひお越しくささい。



傍聴席からの見え方～議会のレイアウト～



演壇

一般質問の回答や委員長報告等を行う場所です。

質問席

議員が町に対し、一般質問を行う場所です。

財務課長	税務課長	会計課長			生涯学習課長	子育て支援課長	保険年金課長	上下水道温泉課長
総務防災課長	観光課長	企画課長	消防長	議事局長	学校教育課長	健康福祉課長	環境課長	都市整備課長
総務部長	企画観光部長	副町長	町長		教育長	教育次長	福祉部長	環境整備部長

出入口

質 問 席									
8番 稲葉親太郎	7番 山田成宣	6番 勝俣公好	5番 小川鶴雄	4番 勝俣剛一	3番 川口延明	2番 川端祥介	1番 村野由紀子		
14番 沖津弘幸	13番 西村和夫	12番 折橋尚道	11番 遠藤秀則	10番 石川 栄	9番 山田和江				
傍 聴 席									

我が家の自慢

『もしかすると、今年の春、かわいいフクロウの赤ちゃんが見られるかもしれません。』



モリフクロウのフク君(左)とココちゃん(右)

(仙石原 齋藤さん)

次号以降に掲載するペットを募集しています。

50文字以内の紹介文、飼い主の名前、可愛がっている動物の名前と住所、電話番号を明記の上、写真を郵送または下記にEメールにて議会事務局まで提出ください。(名前と地区を掲載)

web_gikai@town.hakone.kanagawa.jp

なお、写真によっては掲載不可能な場合もありますので、ご了承ください。

『町民の皆さんとの意見交換会』希望する団体等を募集中

議員と「まちづくり」について意見交換しませんか？

【対象】町内で活動する、おおむね10人以上のグループ・団体

申込方法等は、議会事務局までお問い合わせください。(☎85-9570)

広報広聴委員会

委員長

稲葉親太郎

副委員長

勝俣剛一

委員

村野由紀子

川口延明

山田成宣

折橋尚道